

3-7 比較文化史学

研究・教育活動の概要と特色

比較文化史学の範囲や概念は、本来広く多様な要素から成り立っているが、比較文化史学研究室では、教官の専門構成（教授・助教授、2名）の関係上、中国を主とした東アジア社会・文化史の比較研究、及びロシア近代のアジア・極東政策史の研究に重点を置いている。

院生は文学研究科に所属し、教官2名は東北アジア研究センターから文学研究科には協力講座として参画している。現在院生は後期課程に一名在籍している。

東アジア及びロシア地域を研究の中心に置くため、中国語・漢文、もしくはロシア語は必須であり、比較文化という観点から英語も必要としている。

中国やロシア、アジア・ヨーロッパ・アメリカの研究者と、フィールド調査を含めた共同研究を実施している。

比較文化史学は、中国を主とする東アジアとロシア近代史を主とするシベリア・東北アジアの研究から、中国・韓国及びロシアとの学術研究交流への窓口の一つとして、東北大学の国際交流の片鱗を担っている。

I 組織

1 教員数（2009年9月末現在）

教授：1

准教授：1

講師：0

助教：0

教授：磯部彰

准教授：寺山恭輔

2 在学生数（2009年9月末現在）

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
0	0	0	1	0

3 修了生・卒業生数（2005～2009年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
05	0	0	0
06	0	0	0
07	0	0	0
08	0	0	0
09	0	0	0
計	0	0	0

*2009年度は、9月末までの数字

II 過去5年間の組織としての研究・教育活動（2005～2009年度）

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
05	0	0	0
06	0	0	0
07	0	0	0
08	0	0	0
09	0	0	0
計	0	0	0

*2009年度は、9月末までの数字

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

なし

2 大学院生等による論文発表

2-1 論文数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
05	0	0	0	0	0
06	0	0	0	0	0
07	0	0	0	0	0
08	1	0	0	0	1
09	1	0	0	0	1
計	2	0	0	0	2

*2009年度は9月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
05	0	0	0	0	0
06	0	0	0	0	0
07	0	0	1	0	1
08	1	1	1	0	3
09	0	0	1	0	1
計	1	1	3	0	5

*2009年度は9月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文

佐々木聡「漢代の呪詛事件に見える巫者と「婢」の存在形態について」、
『集刊東洋学』99号、2008年

佐々木聡「『女青鬼律』に見える鬼神観及びその受容と展開」、『東方宗
教』113号、2009年

(2) 口頭発表

佐々木聡「中国古代・中世前期妖怪研究の現状と問題点—隣接諸学の「妖
怪」研究との対比から—」第19回柳田国男を読む会定例研究会、
2008年3月23日、於金沢大学

佐々木聡「道蔵本『女青鬼律』に見える鬼神観念の諸相」、第57回東北中

国学会、2008年5月25日、於小樽朝里クラッセホテル
 佐々木聡「中国中世初期における鬼神観と「妖怪」—道蔵本『女青鬼律』を中心として—」、第56回東アジア怪異学会定例研究会、2008年7月13日、於関西学院大学
 佐々木聡「関于《道要靈祇神鬼品經》的鬼神分類和其書的特徴」、「東アジア出版文化の研究」平成20年度・第2回セミナー、2008年9月21日、於上海・復旦大学
 佐々木聡「中国中世の鬼神観と却鬼書—『女青鬼律』と『白澤圖』の比較を通して—」仙人の会四月例会、2009年4月18日、於慶應義塾大学

3 大学院生・学部生等の受賞状況

なし

4 日本学術振興会研究員採択状況

2009年度特別研究員（DC2）採択1名

5 留学・留学生受け入れ

5-1 大学院生・学部学生等の留学数

なし

5-2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
05	0	0	0
06	0	0	0
07	0	0	0
08	0	0	0
09	0	0	0
計	0	0	0

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
05	0	0	0
06	0	0	0
07	0	0	0
08	0	0	0
09	0	0	0
計	0	0	0

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人

7-1 専攻分野出身の研究者

なし

7-2 専攻分野出身の高度職業人

なし

8 客員研究員の受け入れ状況

国立成功大学（台湾）教授 王三慶 2009年5月27～2009年8月26日

9 外国人研究者の受け入れ状況

カンタベリー大学助教授（スーザン・ブーテレイ）2006年2月13日～2006年6月30日、東北アジア研究センター客員教授

オーストリア国立学術アカデミー上級研究員（スザンネ・フォルマネク）2007年3月16日～2007年6月30日、東北アジア研究センター客員教授

ノボシビルスク国立大学准教授（エレナ・ボイティシェク）2007年11月5日～2008年2月29日、東北アジア研究センター客員教授

ハバロフスク国立人文大学教授（ニーナ・ドゥビーニナ）2009年4月1日～6月30日、東北アジア研究センター客員教授

10 刊行物

なし

1 1 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

磯部彰 第 3 回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会、主催、東京、
2009 年 7 月 19 日

磯部彰 第 2 回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会、主催、東京、
2008 年 12 月 18 日

磯部彰 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「東アジア出版文化
国際研究拠点形成及びアジア研究者育成事業」セミナー「東アジア出版文化
の研究」、上海復旦大学との共催・運営、上海、2008 年 9 月 21 日

磯部彰 第 4 回東アジア出版文化に関する国際学術会議、主催、仙台、2008 年 7
月 28・29 日

磯部彰 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「東アジア出版文化
国際研究拠点形成及びアジア研究者育成事業」セミナー「東アジア出版文化
の研究」、主催、仙台、2008 年 7 月 29 日

磯部彰 第 1 回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会、主催、仙台、
2008 年 7 月 27 日

磯部彰 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「東アジア出版文化
国際研究拠点形成及びアジア研究者育成事業」セミナー「東アジアむかしの
本のもものがたり」、主催、北海道伊達市、2007 年 9 月 28 日

磯部彰 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「東アジア出版文化
国際研究拠点形成及びアジア研究者育成事業」セミナー「東アジアむかしの
本のもものがたり」併設展「東アジアむかしの本のもものがたり展」、主催、北
海道伊達市、2007 年 9 月 25～29 日

磯部彰 シンポジウム「東アジアの出版と地域文化」、主催、横浜、2006 年 8 月
6・7 日

磯部彰 シンポジウム「東アジアの出版と地域文化」併設展「東アジア出版展覧
会」、主催、横浜、2006 年 8 月 6・7 日

寺山恭輔 ロシア極東研究会、主催、仙台、2009 年 5 月 26 日

1 2 専攻分野主催の研究会等活動状況

なし

1 3 組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

比較文化史学は、文学部の学部には講座を持たない協力講座として活動するため、

その認知度は低い。そのため、学部から大学院へ進学する際、東洋史学や西洋史学との差異が鮮明ではなく、入学者に乏しい。また、文学研究科の建物内に専用のスペースがないことは、学生が本講座への認識を持ちにくく、文学研究科生としての活動に多少なりの影響があることは確かであろう。しかしながら、全学教育を毎年担当し、大学院教育を実施する中で本講座を紹介しつつ、国内外の東洋文化史や西洋近代史研究を志す学生に門戸を開き、組織としてはロシアや中国・韓国との研究交流を進め、大学全体に一定の貢献を果たしている。東アジア出版文化の展覧会や研究所センター一般公開事業では、本学の学生のみならず、他大学及び一般市民に情報を発信し、リカレント教育にも努めている。

Ⅲ 教員の研究活動（2005～2009 年度）

1 教員による論文発表等

1- 1 論文

磯部 彰「朝鮮版五臣注『文選』の研究」、『東北アジアアラカルト』第 17 号、P1-50、2007 年

磯部彰「富山藩旧蔵書関係目録と『曾子孝実』について」、『東北アジア研究』第 11 号、2007 年

磯部彰「世徳堂刊西遊記の版本研究」、『東北大学中国語学文学論集』第 10 号、2005 年

寺山恭輔「社会主義時代の極東・シベリア」境田清隆他編『アジアⅡ 東北アジア』立川武蔵・安田喜憲監修『新世界地理』第二巻、2009 年。

寺山恭輔「外交から見たロシアにおける政策決定過程」『日本国際問題研究所ロシア研究会報告書』、P99-119、2009 年

寺山恭輔「ソ連におけるメディアと検閲～ポリシェヴィキの描くユートピア～：序論」山田勝芳編『東北アジアにおけるユートピア思想の展開と地域の在り方についての総合的研究』（科学研究費（基盤 B）「東北アジアにおけるユートピア思想の展開と地域の在り方についての総合的研究」研究成果報告書）山田勝芳編集、P27-71、2009 年

寺山恭輔「ソ連における対日戦勝記念日」川島真、貴志俊彦編『資料で読む世界の 8 月 15 日』（山川出版社）P155-166、2008 年

寺山恭輔「革命ロシアからの密使と中国—ミュレル、ポポフ、ヴィレンスキー・シビリャコフ、ユーリン・ミッション、ポレヴォイ、ストヤノヴィチの活動を中心に」『初期コミンテルンと東アジア』（不二出版）、P177-231、2007 年

- 寺山恭輔「戦間期のソ連西北部国境における民族問題とスターリンの政策：フィンランドとレニングラード、カレリア」『史林』90(1)、P147-178、2007年
- 寺山恭輔「レザーノフ遣日使節団の提唱者、ロシア宰相ニコライ・ルミャンツェフ」、『東北アジア研究シリーズ』7、P239-265、2006年
- 寺山恭輔「ロシアにおける「田中上奏文」：満州事変をめぐるロシア史学の現状」、『ロシア史研究』第78号、P38-45、2006年
- 寺山恭輔「プーチンのロシア」、『東北アジアアラカルト』第16号、P21-43、2006年
- 寺山恭輔「スターリンと中東鉄道売却」、『中国東北地域史研究の新視覚』（江夏由樹、中見立夫、西村成雄、山本有造編集）、山川出版社、P154-184、2005年
- 寺山恭輔「革命ロシアと中国：ミュレル、ポポフ、ヴィレンスキー・シビリャコフ」、『科学研究費報告書：初期コミンテルンと東アジアに関する歴史文献学的研究』、P99-117、2005年
- 寺山恭輔「スターリンと満州—1930年代前半のスターリンの対満洲政策」、『東北アジア研究』第9号、P89-110、2005年

1-2 著書・編著

- 磯部彰 科学研究費補助金 特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究成果集Ⅱ『慶應義塾図書館蔵「四郎探母等四種」原典と解題』、特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」（代表者 磯部彰）、P234、2009年4月
- 磯部彰 科学研究費補助金 特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究成果集Ⅰ『東北大学附属図書館蔵「如是観等四種」原典と研究』、特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」（代表者 磯部彰）、P309、2009年3月
- 磯部彰（共著）『ものがたり東北大学の至宝』第3章、『東北大学の至宝』編集委員会 編東北大学出版会、2009年1月
- 磯部彰『費守斎刊《新刻京本全像演義三国志伝》の研究と資料』、東北アジア研究センター叢書第29号、P988、2008年3月20日
- 磯部彰『東アジアの出版と地域文化』汲古書院、2008年3月
- 磯部彰『《西遊記》資料の研究』、東北大学出版会、P497、2007年
- 磯部彰『慶應義塾図書館蔵閩斎堂刊「新刻増補批評全像西遊記」の研究と資料（下）』、東北大学東北アジア研究センター叢書 第23号、P626、2006年

- 磯部彰『慶應義塾図書館蔵閩齋堂刊「新刻増補批評全像西遊記」の研究と資料
(上)』、東北大学東北アジア研究センター叢書 第19号、P706、2006年
編集：寺山恭輔、翻訳：斉藤由佳、前田ひろみ『ロシアの北太平洋進出と日本—
『ロシア領アメリカの歴史』より—』、東北アジアアラカルト第20号、東
北大学東北アジア研究センター、237頁、2009年
- 平川新監修、編集寺山恭輔、小野寺歌子、畠山禎『ロシア史料にみる18—19世紀
の日露関係 第四集』、東北アジア研究センター叢書第36号、東北大学東
北アジア研究センター、285頁、2009年
- 寺山恭輔『1930年代ソ連の対モンゴル政策—満洲事変からノモンハンへ—』、東
北アジア研究叢書第32号、東北大学東北アジア研究センター、128頁、
2009年
- 平川新監修、寺山恭輔、畠山禎、小野寺歌子編集『ロシア史料にみる18—19世紀
の日露関係 第三集』、東北大学東北アジア研究センター叢書第31号、231
頁、2008年
- 平川新監修、寺山恭輔、畠山禎、小野寺歌子他『ロシア史料にみる18—19世紀の
日露関係・第二集』、東北大学東北アジア研究センター叢書第26号、208
頁、2007年
- 石川禎浩、劉孝鐘、山内昭人、水野直樹、生駒雅則、寺山恭輔『初期コミンテル
ンと東アジア』、不二出版、2007年
- 寺山恭輔編『開国以前の日露関係』、東北アジア研究シリーズ7、2006年
- セルゲイ・パプコフ、畠山禎、寺山恭輔『三人の大統領とソ連・ロシア—ペレス
トロイカ、ソ連崩壊、再興—』、東北大学東北アジア研究センターアラカル
ト第16号、2006年
- 江夏由樹、中見立夫、西村成雄、山本有造、黒瀬侑二、塚瀬進、小林英夫、田嶋
信雄、石井明、井村哲郎、丸山鋼二、寺山恭輔『近代中国東北地域史研究の
新視覚』、山川出版社、2005年

1-3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

(1) 総説

- 磯部彰「おいらは猪八戒イノシシよりは偉いのだ」『国立民族学博物館 みんぱ
く』2007(1)、2007年
- 寺山恭輔「現代—ロシア・東欧・北欧」『史学雑誌：2007年の歴史学会一回顧と
展望—』117(5)、P379-384、2008年

寺山恭輔「プーチンのロシアをめぐる邦語文献」『東北アジアアラカルト』第 16 号、P44-59、2006 年

(2) 書評

寺山恭輔「ロイ・メドヴェージェフ『スターリンと日本』」『ロシア・ユーラシア経済—研究と資料』2008 年 10 月号、P44-48、2008 年

(3) その他

磯部彰『東北大学創立 100 周年記念展示 東北大学の至宝—資料が語る 1 世紀—』(図書館・国宝項目担当)、東北大学、2007 年 9 月

1-4 口頭発表

磯部彰「高山寺明恵上人と宋代佛教物語」、第 76 回韓国中国小説学会定期学術発表会、韓国ソウル、崇實大学校、2009 年 9 月

磯部彰「关于日本江戸时期诸藩及个人文库烟粉小说的收藏情况」、第四届中国古代小説国際検討会、中国杭州、2009 年 8 月

磯部彰「東アジア出版文化史から進める日本研究」の必要性、高麗大学校日本研究センター「2008 年度国際学術シンポジウム」、ソウル市、2008 年 12 月

磯部彰 パネルディスカッション「中国四大奇書の成立と出版—嘉靖・萬曆の出版活動」座長、「第 4 回東アジア出版文化に関する国際学術会議」、仙台市、2008 年 7 月 28 日

磯部彰「近世韓半島における『西遊記』の受容」、「韓国中語中文学会記念韓中建交 15 周年国際学術討論会」招待発表、韓国ソウル、建国大学校、2007 年 12 月

磯部彰「社会阶层带来的文学变化——谈刘全进瓜、李翠莲还魂故事」、「現代視野下的中国古代文学与文論国際学術研討会」研究発表、中国上海、復旦大学、2007 年 8 月

寺山恭輔「『歴史偽造』対抗委員会の形成とロシア政治」、日本国際問題研究所ロシア研究班、2009 年 7 月 31 日

寺山恭輔「ロシアにおけるアルヒーフ事情」、防衛省防衛研究所における講演、2009 年 7 月 3 日

寺山恭輔「1930 年代後半のソ連極東における動員政策」、西日本ロシア・東欧研究会、神戸大学、2009 年 3 月 7 日

寺山恭輔「外交からみた現代ロシアにおける政策決定過程」、日本国際問題研究所ロシア研究班、2008 年 12 月 2 日

寺山恭輔「論点開示：ロシア・ソ連の国境と国家」、2008 年度西洋史研究会大会
共通論題『現代連邦制の世界史的位相—解体と統合の諸相—』、2008 年 11
月 23 日

寺山恭輔「1930 年代ソ連の対モンゴル政策」、20 世紀と日本研究会、姫路プラザ
ホテル、2008 年 8 月 9 日

寺山恭輔 博士論文審査委員、大阪大学言語文化部、2008 年 8 月 5 日

寺山恭輔「1930 年代ソ連の対モンゴル政策」、九州ソ連・東欧研究会、福岡教育
大学、2007 年 12 月 27 日

寺山恭輔 スラブ研究センターと浮きシンポジウム第 5 セッション（北東アジアでの
ロシアの戦略と策略）司会、北海道大学、2007 年 12 月 7 日

寺山恭輔「ロシア史研究会大会」コメンテーター、早稲田大学、2007 年 11 月 11 日

2 教員の受賞歴（2005～2009 年度）

なし

IV 教員による競争的資金獲得（2005～2009 年度）

（1）科学研究費補助金

平成 20 年度 特別推進研究 研究代表者 磯部彰「清朝宮廷演劇文化の研究」
128,200,000 円(5 年間総額予定)

平成 19 年度 基盤研究(C)(一般) 研究代表者 磯部彰「明代教派系宝巻形成の研
究—嘉靖萬曆の宗教故事の摂取を焦点に一」1,000,000 円(1 年間)

平成 18 年度 研究成果公開促進費・学術図書「西遊記資料の研究」研究代表者 磯
部彰 1,200,000 円(1 年間)

平成 17 年度～19 年度（研究成果公開促進費）研究成果公開発表(A) 研究代表者磯
部彰「東アジアの出版と地域文化」9,400,000 円(3 年間総額)

平成 17 年度 特定領域研究 継続研究 研究代表者 磯部彰「東アジア出版文化の研
究」2,900,000 円(1 年間)

平成 21 年度～25 年度 基盤研究 (B) (海外学術調査) 研究分担者 寺山恭輔(代
表研究者 上野稔弘)「1920-1940 年代の中国・ソ連における民族政策の比較研
究」1000 万円 (5 年間全体総額)

平成 19 年度～21 年度 基盤研究(C)(一般) 研究代表者 寺山恭輔「スターリン時代
のソ連国境地帯における民族問題と統治政策に関する基礎的研究」4,420,000
円(3 年間総額)

平成 17 年度～19 年度 基盤研究(B) (海外学術調査)研究分担者 寺山恭輔 (研究代表者 平川新)「開国以前の日露関係に関する研究」7,250,000 円 (3 年間全体総額)

平成 17 年度～20 年度 基盤研究(B) (一般)研究分担者 寺山恭輔 (研究代表者 山田勝芳)「東北アジアにおけるユートピア思想の展開と地域の在り方についての総合的研究」15,390,000 円(4 年間全体総額)

平成 16 年度～18 年度 萌芽研究 寺山恭輔「スターリンの対日政策に関する基礎的研究」3,300,000 円(3 年間総額)

(2) その他

平成 20 年度 国際研究集会「第 4 回東アジア出版文化に関する国際学術会議」開催責任者 磯部彰 3,422,412 円 (1 年間)

平成 19 年度～21 年度 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「東アジア出版文化国際研究拠点形成及びアジア研究者育成事業」日本側コーディネーター 磯部彰 1,500,000 円(3 年間総額予定)

平成 19 年度～21 年度 東北アジア研究センター・プロジェクト研究部門・研究ユニット「東アジア出版文化国際研究拠点の形成」研究ユニット

V 教員による社会貢献 (2005～2009 年度)

磯部彰 日本学術振興会 学術システム研究センター 専門研究員、2008 年

磯部彰 東北アジア研究センター・伊達市噴火湾文化研究所連携講演会幹事 (講演会・セミナー)、2007 年

磯部彰「東北大学創立 100 周年記念展示 東北大学の至宝—資料が語る 1 世紀—」、江戸東京博物館・仙台市博物館、説明、2007 年

磯部彰 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業「東アジアむかしの本のもものがたり」開催 (講演会・セミナー)、2007 年

磯部彰 東アジア出版文化の展示会、(2006 年 9 月横浜、2007 年 7 月北海道伊達市、2008 年 7 月仙台)

VI 教員による学会役員等の引き受け状況 (2005～2009 年度)

磯部彰 東方学会・評議員 (2005 年度～)

磯部彰 日本道教学会・理事 (2003 年度～)

磯部彰 中国社会科学院・中国古代小説研究編集委員会 編委 (2004 年 9 月～)

磯部彰 高麗大学校中国学研究所・編集委員 (2008年5月～)

Ⅶ 教員の教育活動 (2009年度)

(1) 学内授業担当

1 大学院授業担当

磯部彰 比較文化史学課題研究
ユーラシア文化史特論Ⅲ・Ⅳ
ユーラシア文化研究演習Ⅲ・Ⅳ
課題研究

寺山恭輔 比較文化史学課題研究
ユーラシア文化史特論Ⅰ・Ⅱ
ユーラシア文化研究演習Ⅰ・Ⅱ

2 学部授業担当

なし

3 その他

磯部彰 歴史学
磯部彰 展開科目 (総合科目)
寺山 恭輔 歴史学

(2) 他大学への出講 (2005～2009年度)

寺山 恭輔 2008年度 大阪大学 (歴史学)